

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第60号

ななえ古写真物語 VOL. 60

郵便事始め

「ななえの郵便のはじまり」

明治終わり～昭和初期？

本町地区



皆さんは、もう年賀状をお書きになったでしょうか？現在は、電子メールの普及で、紙媒体の年賀状は少なくなってきましたが、やはり年賀状が届くと嬉しいものですね。書状のやりとりで、一年の始まりを確認するという風習は、とても素敵だなと思っています。

日本で年始の挨拶を書状でやり取りしたという歴史を調べてみますと、どうやら7世紀後半にまでさかのぼるそうですが、私たちが現在も行っている葉書を用いた年賀状が使われ始めたのは、郵便制度の確立した明治3年から、もしくは本格的に葉書が発売された明治6年以降だと考えられます。

さらに、年賀状配達の役割を担うことになる郵便制度について、『開拓使事業報告第四編』という文献を紐解いてみますと、明治5年に函館へ郵便局が設置されたことが記されており、また「函館ヨリ室蘭渡海ヲ經テ札幌ニ至リ札幌ヨリ小樽迄及函館ヨリ福山江差ヲ經テ後志国久遠郡久遠村に至ル線路ヲ開キ函館札幌小樽ノ線路ハ毎月六回函館久遠間ハ全三回往復と定ム」と書かれていることから、函館～札幌は月5回程度、函館～久遠村（現せたな町）は10日に1回程度の配達が行われたことがわかります。

七飯町における郵便事業は、函館よりやや遅れ、明治8年に七重局が開局したことから始まります。『七飯町史』によると、初代局長には吉田宇右衛門が任命され、明治12年に、七重村と飯田村の合併に伴い「七飯局」へ改称したことが記されております。また、明治13年に峠下局が開局（明治18年に廃止）、明治37年に大沼郵便局、昭和23年に大中山局、昭和36年に軍川簡易郵便局を開局したとあります。

郵便の歴史について、長々と書き綴ってしまいましたが、今回紹介するのは、当館で所蔵する七飯局の写真と記録されているものです。郵便ポストらしきものは見当たりませんが、建物の入口上部には、郵便局の印である「〒」がしっかりと表示され、この建物が郵便局であることを主張していますし、建物のデザインもハイカラな印象を受けます。残念ながら、詳しい年代はわかりませんが、建物前に並んでいる7名ほどの人物の服装や左側にいる子供たちの服装から明治～昭和初期頃なのではないかと推測します。

歴史の深い年賀の挨拶。お世話になった方々への感謝を書き綴り、一年を締めくくってみるのはいかがでしょうか？

17日

北海道立文書館の宮崎美恵子氏を講師に招き、初心者のための古文書講座「古文書への誘い」を文化センターで開催しました。

古文書の読み方からはじまり、当館学芸員による七重官園の話や、実際の文書を読み解くなど、普段あまり触れることのない古文書の世界を、参加者は熱心に学んでいたようです。遠方より、講師として足を運んで下さいました宮崎様には、この場を借りてお礼申し上げます。



講座の様子



館長さん、自ら解説してくれました。



テレビ局は楽しかった！？

24日

ジュニア探検クラブで、函館市の施設見学をしてきました。まずは、五稜郭にある箱館奉行所の見学です。館長に解説を受け、日本の伝統的な匠の技で復元された建造物の迫りに驚いていたようです。その後五稜郭タワーから函館市を一望し、NCVメディアセンターへ向かいました。

ここでは、テレビ番組の撮影や編集を実際に体験し、自分たちが出演した映像を見ることができました。子供たちのテンションはここで、マックスに……。町外の施設を思いつきり満喫した様子でしたが、楽しかったかな？

野草園の冬囲いをしていただきました

26日、友の会の皆さんが、当館野草園の冬囲いをして下さいました。表示板を外して、ラッカーをぬったり、長く伸びた草を刈り込んだり、コモ巻きをしたりなど、寒い中での作業、本当に有難うございます。

今年度は、友の会で野草園の名鑑も作成しています。当館で栽培している草花木果が網羅されているようですので、楽しみにお待ちしております。



1月の予定

1	火	年末年始休館日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	成人の日
15	火	
16	水	夜の博物館
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	ジュニア探検クラブ
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

12月31日～1月5日は休館日となります。

バードテーブル設置！

今年の冬も、バードテーブルを設置しました。ヤマガラなどのカラ類が多く訪れています。館内からも観察できますので、ご来館下さい。



編集後記 ~tawagoto~

今年も、あっという間の一年でしたが、皆さんにとって、どの様な一年だったでしょうか？当館としては、新しいスタッフの加入やウェブページのリニューアル、公式フェイスブックの開設など、従来の仕事はさることながら、新たな挑戦が多かったような印象がします。来年は、より一層、皆様が利用しやすい施設づくりを心掛け、一歩ずつでも前に進んでいきたいと考えていますので、来年も変わらぬご愛顧をお願いいたします。（やまだひさし）

Richard

～ピチャリ～

第60号

平成24年12月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp